

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月22日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室 (授業参観を実施)
- 4 参加者
- | | | |
|-----|-------|----------------------|
| 会長 | 山本 将寛 | 多治見青年会議所理事長 (書面参加) |
| 副会長 | 奥村 美紀 | NPO法人 Mama's Café 理事 |
| 委員 | 小川 由子 | 育友会副会長 |
| | 荻原 明広 | 明和工業株式会社総務部総務課長 |
| | 斎藤 英徳 | 前年度育友会長 |
| | 村松 敦子 | 多治見市養正交流センター長 |
| | 森 巽 | 地域代表 |
| | 山本 和彦 | 同窓会役員理事 |
| 学校側 | 曾貝 隆之 | 校長 |
| | 柴田 純孝 | 教頭 |
| | 相賀 栄寿 | 事務長 |
| | 加藤 龍輔 | 教務主任 (欠席) |
| | 青木 崇 | 生徒指導主事 |
| | 加藤 嘉憲 | 進路指導主事 |
| | 和田 正行 | 工業部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 会長、副会長の選出

➡ 会長に山本将寛委員が、副会長に奥村美紀委員が、それぞれ選出された。

(2) 「令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画」について

➡ 「令和8年度教育指導の重点及び学校経営計画」を承認

(3) 「授業参観」「今年度の取組」について

意見1: 校舎は以前とほとんど変わらないが、生徒の様子は大きく向上している(複数)。

意見2: 校舎の老朽化が見られるが、渡り廊下に敷かれているマットの破損については、張り替えなどの対応を行う必要がある(複数)。

⇒ 現在見積もりを取り、改善に向けて対応を進めている。

意見3: 実習室でエアコン設置が進んでいない。過去の周年事業で育友会や同窓会の協力で教室にエアコンを設置してきたが、実習室においても同様に進められないか。

⇒ 県の支援で実習室にも順番にエアコンがついてきている。育友会等にもお願いできるとよいが公費私費の関係もあり、今後も引き続き県に申請をしていきたい。

意見4: 体育館にエアコンは設置されているのか。熱中症の心配をどのように考えているか。

⇒ 昨年度スポットクーラーが整備されたが効果は限定的である。熱中症対策は定められた基準に基づき適切に対応しているが、学習活動に制約が生じる現状はある。

別紙様式 3

- 意見 5 : SHR 前に行っている 10 分間の朝学習は、カリキュラムに位置づけられているのか。
⇒ 朝学習はカリキュラムではなく、自発的な学習となっている。
- 意見 6 : 今年度、KYT (危険予知トレーニング) に重点的に取り組んでおられ、地域の企業として、何か支援できることがあれば、ぜひ協力したい。
- 意見 7 : 定期考査の欠席者が増えている現状はコロナ禍の影響もあり、やや安易な考え方が広がっていると懸念している。社会に出れば同じチャンスは二度とない場面もあり、「もう一度機会があるから大丈夫」と安易に考えてしまうことがないよう、一定の緊張感を持たせた指導をしてほしい。
- 意見 8 : 遅刻が 10 月と 12 月に増加しているが原因についてどのように考えているか。
⇒ 雨天や降雪時には交通状況の乱れもあり、遅刻が増える傾向がある。また 3 年生の就職試験が一段落する時期の気の緩みは遅刻要因の一つだと考える。遅刻ゼロ週間の前週の金曜日に、「時間と期限を守ろう」、「安全に登校しよう」と事前の呼びかけを必ず行い意識づけの徹底を進めている。
- 意見 9 : 身だしなみについては意味合いが浸透して着こなしが定着している。制服でポロシャツが追加されたようだが、ポロシャツのまま実習を行うことはあるのか。
⇒ 制服のポロシャツで作業をすることはない。実習服は学科ごとに対応が異なり、電子機械工学科では、安全面を考慮し夏服であっても長袖の実習服を着用し、産業デザイン工学科では比較的危険性の低い実習から、実習着としてポロシャツを採用している。
- 意見 10 : 今年度は生徒が自費でタブレットを購入している。保護者負担の軽減につながるような補助金制度や支援策があるのか。
⇒ 現時点で特別な補助金制度は設けられていないが、家庭の状況に応じて学校からの貸し出し対応を行っている。タブレットは県による共同購入から比較的割安にはなっているが、各家庭にとって一定の負担はある。
- 意見 11 : 学校のホームページやインスタグラムの発信において、生徒が関わる取り組みは行われているか。
⇒ 安全面や適切な運用の観点から、生徒が自由に投稿できる仕組みにまでは進められていない。情報発信においてはレスポンスの速さが重要で、生徒の視点を生かしながら、簡単かつ適切に発信できる仕組みづくりを今後は進めていきたい。
- 意見 12 : 多治見商工会議所による「多治見市の中学生アンケート調査 (令和 6 年)」の結果から、生徒は地域に対する愛着はあるものの、「働く場」としての魅力や認知が十分に伝わっていないという課題がある。学校・企業・地域が連携し、それぞれの立場からできる取り組みを積み重ねていくことが重要で、学校の果たす役割も大きい。

6 会議のまとめ

今年度第 1 回の本協議会では、「授業参観」として 1 年生の普通教科および 3 年生の課題研究について、主体的に取り組む生徒の様子を見学いただき、その上で、今年度の本校の在り方についてご協議いただいた。委員からは、本校の現状や取り組みについてご理解を深めていただくとともに、多岐にわたるご質問やご意見をいただいた。いずれのご意見も本校の取り組みに対する一定の評価を踏まえつつ、生徒のさらなる成長を促すための前向きなご提言であった。今回、ご承認いただいた教育指導の重点および学校経営計画を踏まえ、今後の学校運営にあたりとともに、本校のさらなる発展につながる一年としたい。